

伊万里 市議会だより

第31号

平成21年
(2009年)

10月



子ども手当で、早くくれ〜（伊万里牛喰うておらほう in 大平山）

9月補正:17億3,404万円

補正後の予算

一般会計：222億5,629万円

（対前年度同期 +23億8,316万円
+12.08%）



堂々の入場行進（甲子園球場）

★平成21年第4回定例会は12月1日(火)開会予定です。

平成21年伊万里市議会第3回定例会 会 期 日 程

9月

開議時刻 午前10時

日	種 別	内 容
1(火)	本会議	開 会 会議録署名議員の指名 会期の決定 市長提出議案等20件・・・一括上程 市長提出議案等の提案理由説明
3(木)	本会議	議案等に対する質疑
4(金)	本会議	議案等に対する質疑 決議案の上程(企業会計決算審査特委設置) 決議案の提案理由説明 決議案に対する質疑 決議案の討論、採決 特別委員会委員の選任 特別委員会正副委員長の互選 議案の常任委員会及び特別委員会付託
7(月)	休 会	特別委員会(交通網・港湾・企業誘致対策)
8(火)	休 会	特別委員会(地域医療・環境施設整備対策)
9(水)	本会議	一般市政に対する質問
10(木)	本会議	一般市政に対する質問
11(金)	本会議	一般市政に対する質問 市長提出追加議案1件・・・上程 市長提出追加議案の提案理由説明 市長提出追加議案に対する質疑
14(月)	休 会	常任委員会
15(火)	休 会	常任委員会
16(水)	休 会	正副委員長会
18(金)	本会議	市長提出追加議案等11件・・・一括上程 市長提出追加議案の提案理由説明 市長提出追加議案に対する質疑 決議案等の提案理由説明 決議案等に対する質疑 決議案の討論、採決 特別委員会委員の選任 議案の特別委員会付託 特別委員会正副委員長の互選 常任委員会報告 常任委員会報告に対する質疑 特別委員会中間報告 特別委員会中間報告に対する質疑 議案等の付議順序により討論、採決 閉 会

議会ホットコーナー

◎ 教育委員の交代

岩永憲一良さんの任期満了により、新たに森哲也さんの任命に同意しました。

岩永さんは通算12年の教育委員在職中、教育委員長として2年半、教育長として6年余の長きに亘って重責を果たされ、伊万里市の教育行政に大きな功績を残されました。

議会としても、心から感謝申し上げます。

◎ 人権擁護委員の承認

泉澄子さんの再任を承認しました。

定例会会期日程など

議案質疑

乳がん等検診 クーポン

質問 無料を受診できるのは有難いが、料金が安ければ受診率が高いのか疑問。受診率アップのためにはPRに工夫が必要。

答弁 市民部長

他市の例では必ずしも低料金で受診率が高いとは限らない。広報やホームページ以外にも、各種健診の折や婦人会に出向くなどしてPRに努めたい。

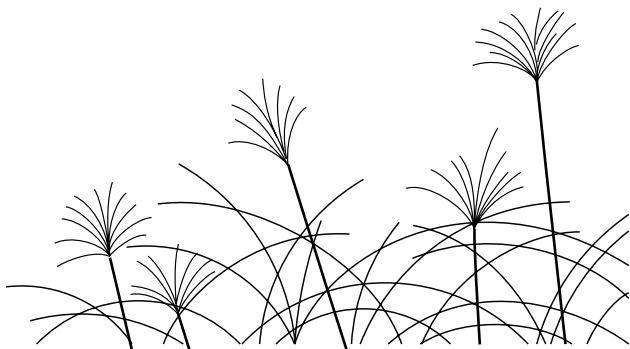
いまりんバスのルート変更

質問 懸案だった上伊万里障害者福祉施設へ

の延長は歓迎するが、一方で現在の利用者へのお知らせが重要。どのように進めるか

答弁 産業部長

路線を延長する朝夕2便は一周当たり10分加算。また8便を終業時刻に合わせるためそれ以降の便は30分遅くなる。広報等に加え、バス停に掲示するなどしてPRに努める。



総務委員会

★所管 総務部、政策経営部、市民部(戸籍・住民登録等)、会計課、消防本部、選挙管理委員会、監査委員、他の委員会に所属しない事項

当委員会に付託されました、条例議案及び一般会計補正予算について審査の結果、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

主な審査内容は次のとおりです。

「消防本部」

松浦町宿分婦人消防隊へ軽可搬動力ポンプ(台車付き)及び予防活動のための資機材整備等に102万3千円、消火栓改修工事費に170万円で3箇所分の事業費で地上式消火栓を地下式消火栓に改修する。

他防火水槽・積載車格納庫改修工事への補助である。

「政策経営部」

土地等の長期譲渡所得に係わる特別控除制度の創設に伴う条例改正である。

定住自立圏形成協定の締結等に関し、議決事件として整理するための条例を改正するので、新しく「定住自立圏構想推進事業」が事業化に向けて定住自立圏共生ビジョンの策定等がなされる。

その懇談会の委員15名と行政側が加わり協議する経費等が計上された。

災害復旧費については、道路・河川・農業用施設・農地・林道等の災害に対して国・県・起債等に対応し、補助対象にならない箇所については市単独予算で整備を行う。

「総務部」

手数料の改正で、航空写真図の交付に関する手数料が航空写真図の交付1件1枚に付800円、1枚増すごとに500円を加算、また字図付航空写真図の交付については1件1枚につき1,100円、1枚増すごとに800円を加算するとの説明を受けた。

防犯灯設置費助成事業については、当初予

算60万円で44基分完了し、申請が新たに50基あり、補正で551千円計上された。

里山エリア再生交付金事業については、大川町立川字大光の市有林の利用間伐業務費委託で、間伐材1,762本伐採・作業路300メートル等の経費が計上されている。

地域情報化一般事業(佐賀県インターネット寺小屋整備事業を活用した拠点整備事業)は地域のICT(情報通信技術)利活用の促進を図るため、相談員を配置したブロードバンド環境にある「拠点・市民図書館内」に整備しICTに関する相談・研修を受けられる体制づくり、パソコン10台ネットワーク機器一式・工事等に補正予算249万5千円。

ノートパソコンで各町公民館等にも出前講座も行う計画になっている。

「現地視察」について

戸栗美術館建設予定地の現地視察をした。

一般質問でも指摘されたが、現状を見ると傾斜がひどく造成には多額の費用が掛かるとの説明を受けた。今後戸栗美術館側の動向を見守りたい。



戸栗美術館予定地の視察(大川内山)

◎前田 儀三郎	○山崎 秀明	
前田 教一	松永 孝三	高木 久彦
占野 秀男	盛 泰子	浜野 義則

文教厚生委員会

★所管 市民部（保健・福祉・環境・人権同和）、
教育委員会、市民病院

当委員会に付託された条例議案1件、補正予算議案2件、特別会計補正予算議案4件について諸議案、慎重に審査した結果原案のとおり全て可決すべきものと決定致しました。

今議会の議案は国の政策の一つであります経済対策の一環として支払われる「臨時交付金」の案件が主な審議内容でありました。

条例議案では、法令の改正に伴い、出産育児一時金の額を改定する為の条例の改正が行われました。

平成21年10月1日から平成23年3月31日までの間に出産をされた方に、今までは、35万円の出産一時金の支払いが39万円に増額する事に改正されました。

補正予算では、民生費に地域共生ステーション(宅老所)推進事業が取り上げられました。これは介護保険によらず、高齢者を日中預かり必要に応じて宿泊も行う等のサービスを提供する宅老所の開設事業者を支援する為の補助を行うものであります。このような施設はこれからも増える傾向にあり、市としても一般財源からの支出である補助金であり、たとえ半額だとしてもきちんとした管理監督をしていくべきとの意見がありました。

又、子育て家庭に対する生活安心の確保を図る事を目的に小学校就学前3年間の子供に対して、子育て応援特別手当を支給すると言うものであります。対象となる子供は平成15年4月2日～平成18年4月1日生まれの子供であり、申請受付から6ヶ月間の支給であり1人の子供につき3万6千円の支給で対象となる子供の人数は1,630人であります

この事業も政府の経済対策の一環であり、今年度限りとの説明を受けました。

住宅の確保と就労機会の確保に向けた支援を目的に住宅手当緊急特別措置事業の説明を受けました。対象者は景気の悪化により仕事をやめざるを得ない人の内、離職者で就労の意欲と能力のある人で住宅を喪失している人、

又は喪失の恐れのある人と言うことであります。支援策として月に3万7千円の住宅手当を支給し、支給期間を来年の3月までとの説明を受けました。

衛生費については、女性特有のがん検診の受診率向上を図るため、検診手帳及び無料クーポン券（子宮頸がん、乳がん）について説明を受けました。



無料クーポン券、検診手帳

教育費については、今回、約1億4千万円の補正予算が組まれ、小中学校の施設整備事業として、パソコンのLAN整備事業や太陽光発電設置事業等の事業費が付いたので、これらを行うとの説明であります。その中で、市内の小中学校にパソコンの配置を行っており、中学校においては、ほぼ全員に行き渡っており、1人一台となっているとの報告であります。小学校におきましては1.2人に一台の割合だとの説明であります。

今回、太陽光発電装置の設置を小学校で5校中学校で3校設置する事との説明を受けました。発電量10kwの太陽光発電と言う事です。この発電装置で一つの学校の電気使用量の3分の1を補うとの説明であります。

自然エネルギーの問題や環境問題等学習教材としての位置づけや僅かではありますが売電もできるとの報告であります。

委員からは、時代の流れではあるが、費用対効果と云う事も併せて考えて行かなければならない問題であろうとの意見がありました。

◎笠原 義久	○草野 譲	
内山 泰宏	船津 賢次	前田 久年
樋渡 雅純	島田 布弘	下平 美代

産業建設委員会

★所管 産業部、農業委員会、建設部、水道部

当委員会に付託された条例議案2件と一般会計補正予算1件及び特別会計補正予算3件は審議の結果原案通り可決すべきものと決定しました。その審議内容について主な意見を抜粋記述します。

● 労働費

今回、雇用情勢の悪化を受け国からの交付金を財源とし地域雇用機会の創出を図る為、県で創設された、「緊急雇用創出基金事業」について審議し、半年未満ではあるが、伊万里市にて約100名の雇用を生み出す25事業は早い執行を望むとの意見が出されました。

● 農林水産業費

「伊万里牛素牛生産拡大事業基金」については、市内の畜産農家に対し繁殖牛を無利子で貸し付け、子牛生産を高め伊万里牛の自給率向上を図る事を目的として提案されました。

委員からは、1頭単価が安すぎることや、1農家当りの貸し出し制限は撤廃すべき等の意見が出されたが、初年度の要望動向を見ながら次年度以降検討するとの答弁を得ました。

● 災害復旧費(農地・農業用施設)

6月7月の梅雨前線豪雨により施設56箇所、農地44箇所が崩壊したので、その復旧費であり早い復旧を望むが、耕作放棄地や営農意欲の低下などが災害を誘発している向きもあると思われるので、耕作放棄地解消も合わせ行う必要があるとの意見が出されました。

● 商工費

「コミュニティバス運行事業」については、いまりんバスを上伊万里にある障害者福祉施設まで延長するとの説明を受けました。

現在の運行は市街地に限られており周辺部でも、いまりんバスの運行を望んでいる。さまざまな問題はあると思うが、今後十分検討すべきとの意見が出されました。

● 土木費

煤屋川、福川内川の河川改修や新規に市内713箇所の橋梁長寿命化修繕計画策定事業が提案されました。

又、住宅費についても本年老朽化した市営住宅の改修を行うとの案件が出され承認されましたが、家賃について過年度家賃滞納が固定化していることもあり、居住者の事情もかんがみながら徴収に努めるようにとの意見が出されました。

● 災害復旧費(公共土木施設)

6月7月の梅雨前線豪雨により道路、河川121箇所が崩壊した為、その復旧工事費が提案されました。

● 工業用水道事業

市民の皆様にも多大なるご心配をお掛けしましたが、7月末に補修工事を終え、貯水を行い企業への送水を開始しました。

現在、波返し工事を行っており10月末にはすべての工事が完成するとの報告を受けました。

委員からはもうこれ以上の補修工事はないのか、塩分濃度、貯水率等についての質問がありましたが、問題はないとの答弁でした。



建設中の井手口川ダム（大川町）

◎堀 良夫 ○松尾 博幸
松尾 雅宏 多久島 繁 渡邊 英洋
岩橋 紀行 田中 啓三 福田 喜一

交通網、港湾、企業誘致対策調査特別委員会

1) 西九州自動車道の整備について

唐津伊万里道路については、用地取得率は平成20年度末の関係人ベースで、南波多町重橋、谷口、古里、水留地区が約40%、大曲、高瀬、井手野、原屋敷地区が91%、府招地区が43%の進捗状況にある。今年度も引き続き用地買収と板治川橋下部工の工事等を予定されている。

伊万里松浦道路については、山代ICから長崎県境間の用地取得率は平成20年度末で約80%の進捗状況にある。今年度も引き続き用地買収と工事説明会、久原小波瀬地区改良工事の工事等を予定されている。

2) 港湾整備について

七ツ島地区多目的国際コンテナターミナル

整備については、国は平成20年度繰越事業としてケーソン5函をマイナス13m岸壁予定地に据え付けを行い、今年度もケーソン3函の製作や航路、泊地の浚渫が計画されている。尚、平成20年度コンテナターミナルのコンテナ年間取扱い量は50,872TEUの実績となり前年度に引き続き九州第4位の状況にある。

3) 企業誘致について

本年4月から8月末までに企業訪問等による立地勧奨は延べ12社、立地企業に対するフォローアップは延べ109社への訪問が行われている。又、昨年立地した日の本研磨材(株)と(株)エレテックの2社が5月に操業を開始されている。

行政視察報告 (8月3日～5日)

1) 島根県益田市

益田市域における山陰自動車道は有料方式と無料方式のいずれも採用されている。隣接の浜田市間の三隅益田道路は都市計画決定手続き中であり、建設促進を図るため住民・行政側や議会側の各種協議会等により積極的な要望活動を展開されている。企業誘致の推進については、大阪事務所に駐在員を配置し、企業動向の情報収集を積極的に展開されている。石見臨空ファクトリーパーク43.3haを有し、約13haの分譲が済み、約700人の市民の新規採用がなされている。

2) 広島県大竹市

大竹市は隣接する山口県岩国市とともに日本で初めて石油化学コンビナートを形成した都市である。港湾施設用地の最大の特徴は直線で約1.2kmとなる岸壁にあり、幾種類ものバース中に-11m岸壁を持つことは地方港湾としては異例とのことで、5万トン級の大型船舶の接岸も始まっていて、日本で唯一の外資コンテナを取り扱う地方港湾となっている。

利便性の高い交通網と、航路、泊地の浚渫の必要もない良好な自然環境にも恵まれている。企業誘致の推進については、企業の流失防止にシフト替えされている。企業用地として約38ha整備されているが、既に完売し、1000億円以上といわれる投資が行われている。



大竹港コンテナターミナル

◎渡邊 英洋 ○多久島 繁
松尾 雅宏 山崎 秀明
島田 布弘 笠原 義久 前田儀三郎

地域医療・環境施設整備対策調査特別委員会

新病院統合整備事業

用地取得は全ての契約が終了し造成開始の予定。国道からの進入路は国土交通省及び警察との協議が進むと共に、地権者へ計画概要が示され概ね了解が得られている。建物は7月から実施設計に着手。建設への本格的な動きが始まった。

用地取得の遅れにより計画全体が約8カ月余りずれ込んでおり、平成23年4月の開院予定が遅れることは明白であるが、今年度はいまだ病院統合推進協議会の開催はなく、審議がなされていないのは遺憾。よって現在の進捗状況を踏まえた開院時期の見通しについて速やかに協議・公表されることを望む。また院内保育所や医師宿舎の整備は、今日の医師不足などの現状を踏まえ安心・安全な医療を提供するために、医療従事者の確保は必要不可欠である。人材確保のための投資は積極的に行うべきものであり、今後も慎重かつ十分な協議を望む。

行政視察報告（8月18日～20日）

福岡県筑後市立病院

平成11年8月に新病院となり15科、220床。久留米大学医学部教育関連病院ではあるが医師不足の状況にあり、医師確保のために近隣公立病院並みの医師年収アップや、学会への臨床研修結果発表への補助など、思い切った施策を取る。昨年11月「市立病院経営形態検討委員会」発足。全て第三者委員による5回の会議を経て、経営形態を「地方独立行政法人・非公務員型」とする旨の答申がなされた。

福岡県北九州市立若松病院

平成15年に新築移転。11科、210床の病院だが、内科医不在で53床休止中。医師確保のために特勤手当のアップや部長職への時間外手当支給などを実施。育児等で家庭に入った女性医師や看護師が復職できる職場の環境づくりが大切だとのアドバイスを受けた。また独居老人などのために、急性期を過ぎても3ヶ月間までは入院できる亜急性期病室を導入。4床から始めたが需要が多く現在は20床。

福岡県玄界環境組合 古賀清掃工場

平成15年4月操業開始。処理区域面積113.73km²、処理区域人口約14万人、用地面積7.8ha、総事業費195億2,470万円。焼却炉は一日処理能力130tのキルン式ガス化溶融炉が2炉。ダイオキシン類排出量大幅削減のため、

ごみ処理施設整備事業

県のごみ処理広域化計画を受け、平成19年7月に本市を含めた4市5町で佐賀県西部広域環境組合を組織、約24万人余りを処理区域人口とする施設整備事業を開始。基本計画では、処理能力を国のガイドラインや構成市町より排出されるごみの量等から日量201tとし、平成24年～26年度の3カ年で施設整備、27年度供用開始予定。

建設候補地は、松浦町まちづくり協議会と構成市町長会からの要望を受けた伊万里市が松浦町へ候補地抽出を依頼し、自然環境や生活環境保全への配慮等を条件として、50haの土地が候補地として示された。21年5月には、その内の12haが環境影響評価を行う建設予定地に決定。

今年度は事業の骨格をなす重要な計画が数々策定される予定。施設整備基本計画では処理方式や最終処分場の検討を行い、施設の方向性が定められる。地元はもとより伊万里市として望ましい方向性を見定め、将来に禍根を残すことのないよう十分な議論を望む。

ごみを450℃で蒸し焼きにした後、1,300℃で完全燃焼。脱塩用バグフィルターでは重曹を薬剤として用いて脱塩残渣を激減させている。スラグは建築用資材等に有効活用できるが、残渣は工業用塩としての利用以外に活用方法なし。最終処分場容量は11,505m³。

福岡県糸島地区消防厚生施設組合 糸島クリーンセンター

平成12年操業開始。処理区域面積216.03km²、処理区域人口約10万人、用地面積8.9ha、総事業費130億5,349万円。焼却炉は、一日処理能力100tのシャフト式ガス化溶融炉を2炉備えている。ガス化炉と溶融炉を一体化した炉で、炉内に駆動物のないシンプルな構造のため10年間補修の必要なし。人口増加が予想を下回ったため、2つの炉を3ヶ月毎に交代で運転。最終処分場容量は25,600m³。また、地元要望で場内にグラウンドを整備し地元優先使用。温浴施設の要望もあったが人件費などの問題で未実施。地元への状況報告を定期的に実施。

なお、両センターとも余熱発電により場内電力を賄い売電も行い、リサイクルプラザでは新品同様に甦った家具などを希望者へ販売。

◎下平 美代 ○盛 泰子
内山 泰宏 松尾 博幸
草野 譲 堀 良夫 浜野 義則

一 般 質 問 (質問順)			
議員名	質 問 事 項	議員名	質 問 事 項
船津 賢次 (一問一答)	1. 財政問題について 2. 市長退職金について 3. 同和行政について	松永 孝三 (一問一答)	1. 公共事業(工事)の入札について 2. 行政評価システム導入事業について
笠原 義久 (一問一答)	1. 第4工業用水道事業事故後の検証報告について 2. フォレストイン伊万里(旧ウェルサンピア伊万里)の現状と課題について 3. 戸栗美術館建設実現に向けて	浜野 義則 (一問一答)	1. 新型インフルエンザ対策について (1)市内におけるこれまでの感染状況は (2)対策への体制整備は (3)今後の対応は 2. 学校等給食費の滞納対策について (1)市内の滞納状況は (2)これまでの対策と成果は (3)今後の対策
堀 良夫 (一問一答)	1. 市長3期継続にむけた考えについて 2. 定住自立圏構想について 3. 県西部地区広域ごみ処理計画について 4. 県が策定を進める消防広域化推進計画について	前田 久年 (一問一答)	1. 教育改革について (1)新学習指導要領と伊万里市の教育について 2. 子ども農山漁村交流プロジェクトについて
盛 泰子 (一問一答)	1. 市長マニフェストについて (1)達成度の評価 (2)情報共有へ向けて 2. プルサーマル計画について (1)これまでの議論をふまえ市長はどう考えるか 3. 大規模な留守家庭児童クラブについて (1)伊万里クラブの現状と今後 (2)分離に関する保護者説明会 (3)指導員との定期的な意見交換 4. 保育園の一時保育について (1)法改正の内容 (2)市内保育園での状況と課題 5. 新型インフルエンザ対策について (1)市民へのマスク配布方法	田中 啓三 (総括)	1. マニフェスト(政策実行計画)について 2. 2010年の市長選挙について
		占野 秀男 (総括)	1. 市民の足を守る対策について 2. 女性管理職登用について 3. 大坪小学校トイレの水洗化について 4. 政権交代後の市政運営と市長選について
		渡邊 英洋 (一問一答)	1. 農業振興策 (1)中山間地域等直接支払制度について 2. 中心市街地活性化 (1)旧ダイエー伊万里店ビルについて 3. 公園管理と整備計画 (1)都市公園の管理状況について (2)ファミリーパーク整備計画について
下平 美代 (一問一答)	1. 史跡指定を受けている「大川内鍋島窯跡」の景観維持と整備について (1)伊万里市における大川内山の位置づけ (2)史跡にふさわしい風致、景観の整備 (3)災害による土地形状の変更に対する対策と個人負担 2. 戸栗美術館所有地の管理、整備について	山崎 秀明 (一問一答)	1. 県道黒川松島線バイパスのルート変更について (1)ルート変更に係る市及び地元意見の聴取状況 (2)現ルート及び変更ルートに係る関係地権者に対する理解 2. 風水害警戒および災害対策にかかる地域連携について (1)災害対策連絡室等設置の出張所等への連絡 (2)被害状況の取りまとめ組織

財政問題について

船津 賢次

質問 ①昨年末からの世界的な景気悪化で市民税の大幅な減について、②第4工水の使用水量の大幅な減など心配されているが。

答弁 **総務部長・水道部長**

①平成21年度当初予算で法人市民税は41・7%減の予算を組んだ。8月末の収納見込みでは固定資産税の大幅な増で市税全体では前期比2億1千万円程度の増となっているが、これからの下半期に大口の決算を見守りたい。

②1日1万8700t（年間2億2千700万円）の給水を見込んでいたが、7千t弱（8千500万円）の給水となっている。

市長退職金について

質問 平成19年6月議会で

質問したときに市長は「痛みを分かち合いたいという気持ちには持っている」「熟慮させていただきたい」と答弁された、今日どのような判断されているか。

答弁 **市長**

熟慮したが、今のところ議会に減額を提案するつもりはない。

同和行政について

質問 同和对策事業は平成

14年度から一般対策に移行した。しかし依然として特別対策ではないかと思うことが随所にみられる。その中で同和教育集会所長報酬及び隣保館長報酬は県内他市と比べてどうなっているか。私が関係の党議員を通じて調べたところでは他市は社会教育指導員の報酬となっており、伊万里市は他市の2倍になっている。

答弁 **市民部長・教育部長**

他市に問い合わせたが、個人情報にあたる可能性が高いということで情報提供が得られなかった。

第4工水事業検証作業の最終報告

笠原 義久

質問 第4工水事業の問題点を第3者機関に諮って検証した結果の最終報告は。

答弁 **水道部長**

全国的にも前例のない事業で、慎重かつ合理的に行われてきたが指定を受けた調査範囲で締切提の変異は事前予測は不可能であったとし、国も問題が無かったことを認めてくれた。

質問 再度検証をする考えはないのか。

答弁 **水道部長**

九大教授の信頼性の高い検証を受け、一定の区切りがついたと思うが再度の考えはない。

フォレストイン伊万里について

質問 民間売却後、市民への施設の開放を強く要望し

てきたが現況はどのようなになっているのか。

答弁 **産業部長**

本館を除く全ての施設が閉鎖の状況と聞いている。

質問 施設の一刻も早い市民への開放と従業員の方々の再雇用を行政も働きかけるべきと考えるが。

答弁 **産業部長**

民間運営に対し行政の関与には限界があるし口は出せない。松風会への意思は尊重しながらも新たな展開になれば市民サイドに立ち訴えていく。

戸栗美術館建設に向かつて

質問 伊万里市の宝、鍋島の戸栗美術館を地元の理解を得、早期建設の推進を計るべき。

答弁 **政策経営部長**

戸栗サイドの意思は確認できた。市の応援も財政状況の厳しい中、財源の確保を見出し、真剣に取り組むたい。

市長3期目へ向けた考えは

堀 良夫

質問 来春の市長選への出馬意向と今後の重点施策は

答弁 **市長**

「さわやか市政」を政治信念として厳しい財政状況の中、企業誘致による地域経済の活性化と税収の増加、千百名を超える雇用の創出を始め、医療環境・都市基盤・産業基盤の整備、子育て支援事業等多方面にハード・ソフト事業とも精力的に取り組んできた。市の地域力は着実にレベルアップしているが、課題は多く「未だ発展途上」である。今後は西九州自動車道や域内の産業・生活道路としての幹線道路網等の交通インフラ整備、七ツ島地区マイナス13mの岸壁整備による国際コンテナ貿易の振興、川南造船所跡地の早期解決、伊万里・有田統合病院の開設。新たな政策目標と

一般質問

して国立の高等専専の誘致、中高一貫教育の取組み等。ソフト事業と共にハード事業も着実に進めなければならぬと考えている。

伊万里市の更なる発展のため、私の持てる全ての力を出し尽くしたく、出馬表明をさせて頂く。

定住自立圏構想について

質問 国が推進する第3の広域連携政策といわれているが、その目的は。市はどのような展開を図るのか。

答弁 政策経営部長

人口5万人程度以上が中心市となり、周辺市町村が協定を結び、人口定住のために必要な生活機能を役割分担し連携して圏域の活性化を図る。本市と有田町は市町の枠を超えた生活圈を共有しており、定住自立圏形成協定について議会に諮り定住自立圏共生ビジョンを今年中に策定したい。

(二問省略)

プルサーマル計画

盛 泰子

質問 市長は、原発10km圏の問題などについて遺憾の意を表すなど、勇気ある発言をされてきたと思う。①プルサーマルを目前に控え、伊万里市民の安心・安全を守る立場の市長として傍観者でいるのか？②知事答弁「伊万里市長発言に関して私が何かコメントすべき立場にない」は全く不誠実であり、伊万里市からの問題提起を恐れていると思う。知事へ申し入れを。

答弁 市長

①10km圏外であっても、近隣市町に変わりはなく、風評被害を含めた防災体制などに伊万里市が目をつけてもらえない状況には満足していない。②従来も発言してきた。波多津漁協の皆さんは10km圏内で毎日操業されており、圏外だから伊万里市は関係ないというス

タンスでは困る。機会があったら知事に申し入れたい。

大規模な留守家庭児童クラブ

下平 美代

質問 ①百人に近い大規模クラブである伊万里クラブの分割は。②保護者説明会・指導員との定期的な意見交換を。

答弁 教育部長

①来年度は余裕教室を利用しているの分割か現施設内でのクラス分けを検討中。それ以降については、状況を見て判断する。②実施する。

保育園の一時保育事業

質問 法改正によって一時保育が危機的な状況にある。市内の状況はどうか。

答弁 市民部長

利用者は大変多く、子育て支援の大事な事業である。制度が後退しないよう、国・県に対して強く働きかけを行なう。

大川内山鍋島窯跡の景観維持と整備

下平 美代

質問 平成15年度史跡指定を受けた後の整備はどのようなにされたか、説明板等不十分であるが、①今後の整備計画、②史跡地内の災害発生の対策と個人負担、③伊万里市における大川内山の位置づけは。

答弁 教育部長・産業部長

平成15年9月指定を受け同19年3月保存計画書作成し地区に配布し、歴史の学習会を行い、藩役跡を藩窯公園にしたが説明板等は十分ではない。

①基本構想等必要であり歩みを止める事なく進めたいが予算的に厳しく基本構想作成時期は明言できない。

②史跡地内の災害発生として文化庁に報告、国・県と協議をし景観を損なわない工法でやる。個人負担は

いくらかは止むを得ぬが国の補助事業として取組まれるよう申請している。

③大川内山は伊万里市最大の観光地である。大川内山と行政が手を取り合って史跡を整備することにより客の滞在時間も伸びると思う。「めおとしの塔」も現在不具合であるが、新調するには270万円必要で、何らかの制度活用で対処したい。

答弁 市長

①大川内山を「世界遺産」にしようと呼びかけたこともあり、歴史文化、景観は、佐賀県にとっても第一級の観光地であり伊万里の誇りと思う。

戸栗美術館予定地の管理

質問 大川内山の入口で景観上も好ましくない適切な管理を要請して欲しい。

答弁 政策経営部長

業者からの連絡で美術館にも適切な管理をお願いする。

公共事業の入札について

松永 孝三

質問 公共事業（工事）発注状況について

答弁 総務部長

今年度8月までの入札件数は合計85件です。土木工事38件、建築工事が7件、電気、機械、水道が40件で、全体の落札率は91・98%となっています。最低制限価格未滿での失格の件数は、土木工事3件・7社、建築工事1件・3社となっています。

質問 入札制度の改善による建設業界の救済について

答弁 副市長

経済情勢は厳しく、公共工事も減少傾向です。建設会社のみなさんは、市民の安全、安心という施策に対し、ご尽力いただいております。経済、雇用の観点からも重要だと思います。工事発注におきましては、可能な限り、

市内業者への発注を行う。入札制度改革を含め出来る施策を実施したいと考えています。

行政評価システム

質問 行政評価システムの概要と導入の目的について

答弁 政策経営部長

市が行う施策や事業について、その目的や背景、経費等を分析し、事業の必要性や目標に対する達成状況などを評価することで、次の事業展開等に活かしていくものです。

質問 今後の取組みについて

答弁 政策経営部長

行政評価の活用策として、事業の取捨選択や優先度分析などに活用し、評価表の一部では十分な精度を備えていないものもあり、予算編成に直結した活用まで至っていない部分もある。精度向上に努め、行政上の課題解決するための道具として活用したい。

新型インフル
エンザ対策

浜野 義則

質問 新型インフルエンザの感染者が急増しているが市の状況は。市の行動計画が作成されているが、ワクチン接種や要援護者の支援等の体制は確立されているのか。またシミュレーションや実施訓練が必要ではないか。

答弁 市長・市民部

青嶺中学校で19名の集団感染が発生し、13日まで4日間の臨時休校を実施中で、含めると伊万里保険所管内で56名が罹患している。

行動計画では市職員の大規模感染等を想定して3段階の業務優先順位等を決定しているが、ワクチン接種等具体的な取り組みは今後県と一緒に検討をしていく。また市民の安心・安全は最も重要な課題であり、シミュレーションによる訓練や想定訓練を行っていきたい。

学校給食費滞納
対策

質問 18・20年度までの3年間だけでも小・中学校の給食費滞納が225万円あり、それ以前の分も合わせると更に多額になる。

現在、給食費の徴収や滞納の督促など教育現場に大きな負担となっている。今後は教育委員会が対応していくべきではないか。また悪質な滞納者について今後は法的措置も含めた対応が必要ではないか。

答弁 教育長・教育部長

教職員やPTA、教育委員会も係長以上で徴収班を編成して家庭や職場まで出て向いて滞納対策を実施し、効果もあげている。

市会計への移行や法的措置導入には、条件整備等も必要で、今後実態の把握や既存実施団体等の研究と併せて検討していきたい。

新学習指導要綱と伊万里市の教育について

前田 久年

質問 教育改革を受けて学校教育はこれからどのように進められようとしているのか。特に新学習指導要綱について特徴的な改訂点は。

答弁 教育長

これまでの学習指導要領でも、子どもたちに「生きる力」を育むことを目指してきたが、今回の改訂において「生きる力」という理念は継承することになる。今回の改訂により、小学校においては週当たりの授業時数が1・2年生で2時間、3年生以上中学生まで1時間増える。重要事項として、言語活動の充実、理数教育の充実、伝統や文化に関する教育の充実、道徳教育の充実、体験活動の一層の充実、小学校段階における外国語教育の充実がある。

一般質問

子ども農山漁村交流プロジェクトについて

質問 国の補助が終わる平成23年度以降の取り組みについては。

答弁 産業部長

国の補助が終わっても、市内外の子どもたちや、農業体験・宿泊体験を希望される観光客の受け入れができるよう継続して取り組む。

質問 市内には、都会の人に十分アピールできる体験素材がいくつもあるが、本市の観光に対する考えは。

答弁 市長

「見る観光」に加え、「食べる観光」「体験する観光」を一体化して進めることは、本市の活性化に大きく貢献できるものと思う。第一次産業を核に、伊万里焼や伊万里の豊かな自然、歴史文化など、本市の持つ地域資源を最大限に生かし、地域と行政が協力しあって、観光振興に力を入れる。

マニフェストについて

田中 啓三

質問 市長は、市民の代表として、また、行政のトップとして7年半の間、市民と対話を大切にしながら、多くの市民の意見を聞き市政運営に取り組まれた。

このような中で、市長が2期目の市政を担うに当たって掲げた、5つの柱について、政策の総括での観点として、80項目の取組み効果などをどのように評価されているか。

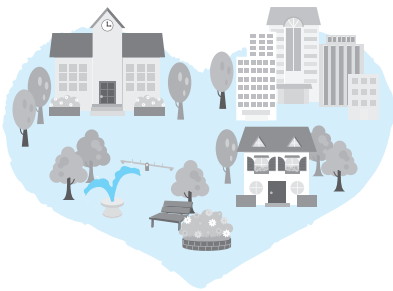
また、3期目の出馬に当たって課題も多いが、方向性としてどの分野に特色と重点を置き、総合計画に沿った形で作成となるのか。

答弁 市長

平成18年4月、2期目の市政を担うに当たって掲げたマニフェスト（政策実行計画）の取組状況は、80項目

目の施策のうち、2項目が未着手であり、達成できたもの31項目、一定の成果があったものの40項目、成果が出ていないものが7項目となっており、88・8%の達成状況であった。

3期目に出馬するに当たってのマニフェストについては、西九州自動車道、伊万里港の整備等は今後とも国、県に対し要望活動に努め、新病院建設、広域ごみ処理計画を始めとして、市民生活に密着した政策と、市民に対して温かみのある政策に取り組みたい。



市民の足を守る対策について

占野 秀男

質問 市民の足を守るための市街地を走る「いまりんバス」の利用はスタート以来順調に推移しているが、循環コースの拡大を望む声も大きい。今のままでは期待に応えられない。

2台目の循環バスも検討されていると思うが循環バスの計画はどうなっているか。

答弁 市長

11月から東部（大川）、北部（波多津）、西部（山代）にも路線バスの順路を拡大し利用拡大を図る。市街地周辺への路線拡大は2台のバスが必要ですから「社会福祉協議会」とも相談し検討していきたい。

女性の管理職登用について

質問 女性の管理職登用に

ついて市役所の管理職は男性優先になっていないか、女性でも十分対応できる職員もいると思うがもつと増やすべきではないか。

答弁 市長

男女平等に対応している。今後も適格者があれば登用していく。

大坪小学校屋外トイレの水洗化を

質問 市内の小中学校のトイレは水洗化が進んでいるが、まだ3か所残っている。特に大坪小の改善については以前から指摘されてきたがいまだ解決していない、早急な改善を。

答弁 教育長

承知はしているが財政のこともあり遅れている。改めて予算要求したい。

答弁 市長

解決していると思ったが未実施であれば早急に水洗化を計画したい。

農業振興策と中心市街地活性化について

渡邊 英洋

質問 二期目の最終年度を迎えた中山間地域等直接支払制度が来年三月末で終了するがこの制度をどう評価するのか。

また、三期目へも是非、継続して欲しい」との強い要望があるが市としてどう取り組むのか。

答弁 市長・産業部長

本制度は耕作放棄地防止はもちろん、多面的機能の維持、協同活動への取り組み等、中山間地域の活性化につながる本制度のもたらした効果は非常に高いと評価している。

また、三期目への継続については政権交代で先行き不透明な面もあるが十月に開催される九州市長会等、あらゆる機会を提案し、他の自治体と力をあわせて強く要望して行きたい。

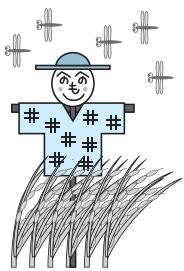
中心市街地活性化策

質問 閉店して七年を経過した旧ダイエー伊万里店があった五階建てビルや今回、バスセンターも八月末に閉鎖され、中心市街地のイメージダウンになつてい

る。いろいろと情報もあるが市としてどう動いているのか。

答弁 産業部長

所有者である西肥自動車(株)とこれまで何回も、市としての考えも述べ要望もして来た。現在も数社と売却交渉を続けられており、売却を含めその活用策を検討されている。市としても、市の玄関口であり中心市街地の活性化につながる様な活用策を要望して行きたい。



県道黒川松島線バイパスのルート変更

山崎 秀明

質問 ルート変更は地域住民側と十分に協議し、種々の角度から将来を見据えた悔いのないものとして設定されるべき。

今日までの情報では県としては今年度中に変更ルートを決定したい意向で、そのため沿線地域や市の考えを把握するため「意見交換の場」を設けたいと表明されているがその動向は。その意見交換の構成員は単に地域割的な役職者のみではなく、これまで関わられた方の加入も特に考えてほしい。

また、現ルート、変更ルートに関わる地権者に対してその意見決定の前に十分に理解を得ておくことも大事だと思うがその対応は。

答弁 建設部長

地元関係者の意向確認を

行いながら事業化に向けルートを決定するための『意見交換会』の設置は11月中旬、12月中旬、2月下旬の3回開催を予定されている。構成員は20〜30人を予定されている。また、ルート変更関係者に十分に説明していく。

風水害警戒及び災害対策に係る地域連携

質問 大雨警報等の発令に伴い災害対策連絡室が設置されるが、その情報伝達は出張所、区長、住民へ十分に伝わっているか。

また別の伝達方法としてケーブルテレビや広報車の活用はなされているか。実際現場においては不安の中で避難指示等を待つが責任ある指示は誰が行うのか。災害発生時の状況とりまとめも的確に対応してほしい。

答弁 総務部長

地域防災計画に則り十分に配慮するが、災害発生時の連絡は直接市に行つてもらい早急に対応したい。

一般会計・特別会計決算審査特別委員会

○樋渡 雅純
○船津 賢次

渡邊 英洋
山崎 秀明
堀 良夫
笠原 義久
前田 儀三郎
田中 啓三
盛 泰子

企業会計決算審査特別委員会

◎福田 喜一
○松永 孝三

多島 繁
松尾 博幸
前田 久年
草野 譲
高木 久彦
占野 秀男
下平 美代

伊万里農林高校
メモリアル

歓喜の胴上げ（県大会優勝）



吉永圭太主将

宣誓

僕たちは、今まで支えてくれた人たちに感謝し、この夢舞台甲子園球場でプレーできる喜びを感じ、最高の仲間と絆を深め、全国の人々に希望と感動を与え続けます。一生懸命、白球を追い、91回受け継がれてきた伝統のバトンを、未来に向けて力いっぱい伝えていくことを誓います。

市議会議員研修会

佐賀県市議会議長会主催の議員研修会が、7月31日に佐賀市で開催されました。

全国市議会議長会事務総長の大竹邦実氏が「市議会議長会をめぐる最近の課題」のテーマで、地方分権改革や第29次地方制度調査会答申等について多くの資料を駆使しながら講演されました。

中でも地方制度調査会の答申ではチェック機能強化の観点から、監査機能の強化・充実と、議会制度のあり方について踏み込んだ内容が示されたことを強調され、地域主権に向けた議会の役割の重さを再認識しました。



編集後記



秋まつ盛り 各地で稲刈や運動会等各種イベントが行われております。編集会議を終え山道を秋の空など眺め散歩しておりますと、足元には彼岸花が咲き乱れ、枝いっばいに実った柿、げんこつみたいなこぶしの実、いつの間にか赤い坊主頭のような山ぼうしの実が消え、山道にイノシシが食い荒らして殻になった栗の実など、自然の営みが如実に表れる季節です。その一方、現実社会はいろんなことが起こっています。新型インフルエンザの影響で、楽しみにしていた運動会・敬老会・各種イベントなど中止になったところがあり残念だったことでしょう。感染しないに越したことはないですが、不幸にも感染した場合、早めに病院で適切な治療をなさってください。そして、他の

人にうつさないことに努力することが感染拡大を抑えることにつながります。

字数やページ数の制限がある中、原稿を提出して頂いており、一文字の加筆・削除を慎重に行い、議員の意図するところを曲げないよう心がけ、編集に腐心しております。行間をも含めて読まされることを希望します。（多）

編集委員

◎山崎 秀明 ○多久島 繁
前田 久年 草野 譲
松尾 博幸 盛 泰子
顧問
内山 泰宏 占野 秀男
樋渡 雅純

発行

伊万里市議会
伊万里市立花町一三五五一
0955-23-2111
0955-22-1277
E-mail: gikai@city.inari.jp

編集

市議会だより編集委員会

印刷 山口印刷株式会社